

持続可能な世界を実現し， Society5.0を牽引する グローバル・リーダーの育成



2022.7.1 WWL・SGHネットワーク連絡協議会

令和元年度指定

管理機関：金沢大学

事業拠点校：金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校

*金沢大学附属高校とは

- ・正式名称

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
(国立)

- ・創立76年

- ・1学年3クラス(約120人)

全校生徒約360人の小規模校

- ・教職員(常勤)は、校長・養護教諭を含め23人

- ・自由な校風(夏服自由化など)

- ・学力が高い生徒が多い

*金沢大学附属高校とは

- ・2014年度から5年間SGH校に指定
- ・2019年度からWWLコンソーシアム構築支援事業拠点校に指定(指定3年目 管理機関:金沢大学)
- ・総合的な学習(探究)の時間に力をいれている

*WWL事業の構想名（テーマ）

持続可能な世界を実現し, Society5.0 を
牽引するグローバル・リーダーの育成

持続可能な世界を実現し、Society5.0を牽引するグローバル・リーダーの育成

人類の一員として自己の使命を認識した上で、国際社会で積極的にその使命を果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力・人間力を備えた人材を養成



醸成する
資質・能力

1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え、価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む

◀ 3つのアライアンスの確立 ▶

1. 北陸圏域内の高校 2. 海外の高校 3. 社会(企業等)

◀ 高大接続改革によるアドバンス・プレースメントの拡充 ▶
“高度な学びの提供”とアドバンス・ラーニングの促進

SGU事業に
採択中の
金沢大学が
管理機関だから
実現可能な
相乗的推進

2. 海外の高校とのアライアンス確立

- ・SDGsをテーマとした共同学習を実施(Skype等活用+現地実習)
- ・SDGs国際会議を開催

◀ 事業連携校 (海外) ▶

- ・台湾師範大学附属高級中学 (台湾)
- ・シンガポール経営学院インターナショナルアカデミー (シンガポール)
- ・マヒドン高等学校 (タイ)
- ・キングモンクット工科大学 トンブリ校附属高等学校 (タイ)
- ・上海七宝中学 (中国)

SGU採択 (H26-35)



3. 社会(企業等)とのアライアンス確立

- ・SDGsをテーマとした社会と直結する学習に対して、継続的な人的支援(高校生への指導・助言・評価等)と、財政支援(外部資金の獲得)

◀ 協働機関 ▶

- ・国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
- ・ユネスコ・アジア文化センター
- ・JICA北陸 ・金沢青年会議所
- ・日本政策金融公庫 ・北陸財務局

金沢大学基金
附属高校グローバル
リーダー育成基金
(H30~受入開始)

金沢大学の
バックアップの
もと、支援終了
後の事業継続に
向けた新たな企業
ファンドを設立

既に
北陸圏域の
多数の企業等
から人的支援・
財政的支援の
協力の申し出

1. 北陸圏域内の高校とのアライアンス確立

- ・金沢大学が主催するAPプログラムへの参画(金沢大学単位認定含む。)
- ・SDGsフォーラム等で探究学習の成果を発表
- ・各アライアンス校が有する教育実績と国内外のネットワークを相乗的に活用

◀ 事業連携校 ▶ 石川県教育委員会、富山県教育委員会、福井県教育庁と協力

- ・石川県立金沢泉丘高等学校
- ・石川県立金沢二水高等学校
- ・石川県立小松高等学校
- ・石川県立七尾高等学校
- ・富山県立高岡高等学校
- ・福井県立高志高等学校

SDGsを題材とした教育の中で高校・大学教員が協働して、
情報教育(データサイエンス)に関する新たな科目を開講



金沢大学が開講する“高度な学び”を
より多くの高校生へ!



*北陸アドバンスト・ラーニング・ネットワークの構築

○3つのアライアンス(連携)

1. 北陸圏域の高校とのアライアンスの確立

石川県立金沢泉丘高校、金沢二水高校、七尾高校、小松高校
福井県立高志高校、富山県立高岡高校

2. 海外の高校等とのアライアンスの確立

シンガポールNJC

3. 社会とのアライアンスの確立

OUIK(国連大学サステイナビリティ高等研究所 いしかわ・
かなざわオペレーティングユニット), 日本政策金融公庫,
北陸財務局, 金沢青年会議所, 地元企業

*北陸アドバンスト・ラーニング・ネットワークの構築

○3つのアライアンス(連携)

1. 北陸圏域の高校とのアライアンスの確立

☆令和4年度

・各連携校を訪問し、行事の参加依頼、日程確認などを行う

*先進的なカリキュラムの研究開発・実践

※総合的な探究の時間を土台

1年生「地域課題研究」

↓ 地域の課題を発見・解決策の提案

2年生「グローバル課題研究」

↓ ゼミ形式でグローバルな課題を研究

3年生「グローバル・キャリアパス」

自己の経験をまとめ、将来設計を立てる

*「地域」→「グローバル」→「自己」

*先進的なカリキュラムの研究開発・実践

☆令和4年度

- ・1、2年生合同のゼミ形式
- ・テーマ:教員が得意な分野
- ・意義:教員のモチベーションが上がった。

質の高い研究

協働性

*海外の高校とのネットワークの構築

○2年生がシンガポールNJCと協働研究

- ・slackやZoomを用いて、コミュニケーションをはかる

☆令和4年度も継続

*文理融合された「グローバル探究」等の新たな教科・科目の設定

新教科(科目)「国際教養 基礎」 1年:1単位

リサーチスキルやファシリテーション能力を学習

「国際教養 基礎」・・・理論

⇕ 往還

「地域課題研究」

「グローバル課題研究」

・・・実践

*文理融合された「グローバル探究」等の新たな教科・科目の設定

○「国際教養 基礎」

内容

- ・プレゼンテーションの基本
(ポスター作成・話し方)
- ・フィールドワークの基本
- ・さまざまな思考法
- ・国際理解「世界を正しく理解するには」 など

☆令和4年度は、総合的な探究の時間に吸収

* 高校生国際会議の開催

第1回 令和3年3月20日(土) オンライン開催

※SGH「北信越フォーラム」を発展的に継承

・4テーマ12分科会(3分科会が英語)

・参加者:国内連携校+北信越3校+エジプトやアメリカなどの海外在住者(述べ参加人数66人)

・助言者:大学教授,行政職員,起業家,民間企業社会人

* 高校生国際会議の開催

第1回 令和3年3月20日(土) オンライン開催

「パンデミックの時代に私たちはどう生きるか」

分科会A:地球温暖化と異常気象・災害

分科会B:科学技術のこれから

分科会C:コロナ禍で考える私たちの学び

分科会D:高校生ソーシャル・イノベーション

* 高校生国際会議の開催

第2回 令和3年8月6日(金) オンライン開催

・4テーマ10分科会

参加者:国内連携校+北信越4校+東北1校
+シンガポールNJC

[述べ参加人数143名(午前24名,午後119名)]

英語ファシリテーター:金沢大学留学生

* 高校生国際会議の開催

第2回 令和3年8月に実施(オンライン)

「Zoom Out/In on the Universe to Find Your New Self」

分科会A: Social Welfare under COVID-19

分科会B: Career Development

分科会C: Cross-cultural Affairs

分科会D: Comprehensive Approach to
Contemporary Social Problems

* 高校生国際会議の開催

第1回と第2回の違い

「教員主催」から「生徒主体」へ

「日英併用」から“All English”へ

「プロジェクト立上げ／ブレインストーミング」
から「探究の中間発表／ディスカッション」へ

☆ 令和4年度も実施（2023年3月？）

* 高校生国際会議の開催

☆ 令和4年度

「教員主催」から「生徒主体」へ

「日英併用」から“All English”へ

「プロジェクト立上げ／ブレインストーミング」
から「探究の中間発表／ディスカッション」へ

* 大学教育の先取り履修を単位認定する取組

<概要>

- ・令和3年度に 科目等履修生の出願資格を「高等学校等に在学している者」へ拡大
- ・WWL事業の検証として附属高校生5名を上限に検定料、入学料、授業料は不徴収

<状況>

- ・面接審査等を経て附属高校から5名入学
(1年2名、2年3名)
- ・科目名「細胞の自己制御と化学反応」(第4Q)

* 大学教育の先取り履修を単位認定する取組

☆ 令和4年度

- ・ 令和3年度と同様に実施
- ・ 科目名：「泉鏡花と金沢アート(STEAM教育入門)」

*その他

①探究的な学びに関する発表

「異学年交流ポスターセッション」(2021.11.19)

「高校生探究成果発表会」(2022.2.19)



*その他

①探究的な学びに関する発表

☆令和4年度

11月、2月に「学びの共有の時間」として発表

* その他

②「e-Museum」の開設

- ・ 高校生の研究の成果物をストックできる場所がほしい。
- ・ 検索機能つき
- ・ 公開範囲の拡大

本校 → 連携校(参加希望校) → 世界

②「e-Museum」の開設

金沢大学附属高等学校 2021年度
WFLコンソーシアム構築支援事業

ホーム 事業概要 活動状況 実施体制 過去の取組

Society 5.0時代に向けて
イノベーティブなグローバル人材を育成

The screenshot shows a web browser window displaying a website. The browser's address bar shows the URL 'kushs-wwl.jp'. The website's header includes the title '金沢大学附属高等学校 2021年度 WFLコンソーシアム構築支援事業' and a navigation menu with 'ホーム', '事業概要', '活動状況', '実施体制', and '過去の取組'. The main content area features a large, futuristic cityscape background with a network of white lines and nodes. Overlaid on this background are several circular icons: a hand holding a smartphone with social media icons, a power line tower, a group of people in a meeting, a large group of students posing for a photo, a person working at a computer, and a group of students in a classroom. The text 'Society 5.0時代に向けて イノベーティブなグローバル人材を育成' is prominently displayed in the upper left. The Windows taskbar at the bottom shows the date as 2021/11/20 and the time as 8:23.

* 自走の仕組み

☆金沢大学から予算をもらっている

- ・事務補佐員、カリキュラムアドバイザー経費
- ・助言者への謝金・旅費
- ・現地学習補助

など